

まず、貴社の税率変更に対する、大変度を見て見ましょう。

御中 総合 困難ランク **A・B・C・D・E・(S)** です。(Aほど大変)

貴社のソフトは、請求書発行で消費税再計算をしている**AB**タイプ or していない。CDタイプか？

貴社は

AB タイプなので、請求書発行前に、消費税率の切替が必要になります。また、20日締等の場合、5%と8%の混合は出来ません。

よって、例 4 / 20 1回だけは5%のままで発行

例 21~末日で一回請求書を発行する。+ここで、消費税設定の切替え1~20日で2枚の請求書を発行する。(合計は手書きする。)など、可能な限り、運用で回避をお願い申し上げます。

CD タイプなので、請求書発行に関して、特別大変な事はないと思われれます。ただ、間違いもあるので、目での確認はお願い致します。

通常の場合は、5%と8%の混在は可能です。 大変かどうかのポイントは、伝票発行をしているか？伝票の消費税タイプの混在？5%・8%の切替が可能かどうか？になります。

納品書伝票を発行している。及び入力のタイミング

A 先付で発行している。 **B** 当日発行している。 **C** 後から伝票発行している。 **E** 発行していない。

A 伝票外税と請求外税がある。 **B** 伝票外税のみ **C** 請求外税のみ

L A N (2台以上で販売管理を使っている)の場合

A~C L A N 8%(新規発行)と5%(修正)の入力を同時にやる事は出来ませんので、時間帯をわけると、打合せの必要があります。

A~E 1台

納品書(売上日)の入力のタイミング

A 未来 **B** 当日 **C** 後

5%の入力を終えてから、8%の入力が可能かどうか？

C~E だいたい可能 **C・D** : 3 / 31日業務終了後 切替作業 別紙 T1・T2・T4 **E** : 5%の入力終了後 別紙 T1・T2・T4

A~D 不可能

商品コードによる管理をしている。(在庫・営業資料・その他資料)

A している。 **S** していない。(問 がA Bの場合は、対応不可)

お客様 各位

消費税率変更対応 運用マニュアルとご協力をお願い

(販売高僧 ・ オリジナルプログラム 他)

はじめに・・・このマニュアルは、標準仕様のマニュアルになっております。

カスタマイズのお客様についても、標準のマニュアルで ほぼ対応出来ると想定しておりますが、カスタマイズの内容によって、このマニュアルでは対応出来ない事もあるかもしれませんので、

大変お手数ですが、しばらくは、納品書・請求書・その他帳票・入力画面について、目視でも消費税の確認・注意をお願い申し上げます。

このマニュアルで、対応が出来ない状況が想定される場合は、お早めにご相談下さい。

一次対応用の、消費税率 変更対応 金額消費税再計算のご用意もあります。 LAN のお客様・マニュアルの切替が困難なお客様はご検討下さい。

改定日の前日、改定日当日は、電話も繋がりにくくなり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、予めご了承頂きたいと思っております。

また、改定日の前日、改定費当日の訪問対応は、スタッフ数の関係上、難しいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

販売高僧の仕様について

(販売高僧シリーズでは、日付で消費税率を持っていません。伝票作成時に、現在の商品マスタの税率を参照しています。)

よって、5%の入力と8%の入力を同時におこなう事は出来ません。 改訂後の新規伝票作成と、改定前の伝票発行や修正を同時にする事は出来ません。

お客様によっては、請求書発行のプログラムに、消費税の再計算機能を組み込んでいる(A Bタイプの)場合があります。

帳票によっては、発行の時点で、消費税計算をしているものがあります。

上記のような場合、5%と8%の混在は出来ません。どうしても必要な場合はご相談下さい。

通常の仕様の場合は、請求書で、5%と8%の混在する請求書発行は可能です。20日締等 但し、表示は分けて出るわけではありません。

改訂後、改定日以前の伝票の参照は十分注意をお願い致します。参照だけでは、5%のままですが、

カーソルを進めると、消費税は再計算されます。参照後 必要でなければ、登録はしないで、そのまま閉じて下さい。

いろいろとお手数をおかけすると思っておりますが、宜しくお願い致します。

株式会社 松弥商事

TEL 045 - 453 - 2002 FAX 045 - 453 - 3229

下記は、全てのお客様の共通マニュアルです。

T 1：非課税の商品をご利用の場合は、全てのコード番号をメモして下さい。(改定日より前に修正しても構いません。) 全お客様

商品マスタ登録

商品コード 修正

フリガナ 棚番

区分 在庫外

商品分類 分類1 分類2 分類3 サポートメンテナンス

商品名1

商品名2

備考

単位 単位の登録 単位の削除 最新単価 記録あり 定価

表示メモ

仕入単価 販売単価 原価更新方法 固定

前月在庫数	<input type="text" value="0"/>	返品	単価ランク	ランク1	<input type="text" value="100"/> %
当月売上	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		ランク2	<input type="text" value="100"/> %
当月仕入	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		ランク3	<input type="text" value="100"/> %
当月在庫	<input type="text" value="0"/>			ランク4	<input type="text" value="100"/> %
発注点	<input type="text" value="0"/>			ランク5	<input type="text" value="100"/> %

消費税の内税率は / 外税率は /

登録 (F1) 前候補 (F2) 次候補 (F3) フリガナ (F4) 削除 (F5) 部品展開 (F6) 台帳 (F7) 中止 (F8) メニュー (F12)

F 6 マスタ処理 商品マスタ

F 9で、消費税の設定に移動出来ます。

非課税のものは、0 / 0 0 / 0 になっているかご確認下さい。

下記のように、分母に数字が入っていると、非課税商品として扱いません。(後のT 4 商品データ一括変換に影響します。)

消費税の内税率は / 外税率は /

T2 : コントロールマスタの基礎情報を直します。(改訂日以降) 全お客様

コントロールマスタ2

設定区分

電話番号検索	0	無効	消費税区分	1	伝票外税
商品検索	1	フリガナ検索	売上消費税端数処理法	0	切り捨て
原価管理方式	0	有効	売上消費税端数処理桁	0	円未満
売上傳票形式	1	明細	仕入消費税端数処理法	0	切り捨て
売上傳票商品名2印字	1	有効	仕入消費税端数処理桁	0	円未満
売上傳票数量印字	1	有効	在庫金額端数処理法	0	切り捨て
売上傳票ページ計	1	有効	在庫金額端数処理桁	0	円未満
請求書形式	1	明細	金額計算丸め	0	切り捨て
請求書印字設定	0	通常	フリガナ欄FEP	1	有効
請求明細印字桁数	0	通常	終了時バックアップ警告	0	無効

自社繰越情報

	今回繰越開始日	前回繰越開始日	前回繰越終了日	明細削除
月次繰越	2008年10月01日	2008年09月01日～	2008年09月30日	99ヶ月以前
在庫繰越	2008年10月01日	2008年09月01日～	2008年09月30日	
年間転記	2005年10月01日	2005年09月01日～	2005年09月30日	

基礎情報

内税率 8 / 108 外税率 8 / 100

伝票番号 40006158 受発注用伝票番号 40000233 見積用伝票番号 40000085

登録 (F1) ラベル設定 (F3) 中止 (F8) マスタ1 (F12)

F6 マスタ処理 コントロールマスタ **F3** マスタ2

カーソルが移動出来ない場合は、**F9**を押した後 マウスで、移動して下さい。8 / 108 8 / 100 に直します。

ここでの設定は、新規に作成する、商品マスタの初期値となるだけです。 LANのお客様は、各クライアントでこの作業が必要です。 4 / 1以降

U3: 可能な限り、5%の伝票を先に入力する。

伝票発行をしていないお客様や、納品書発行が後になるお客様は、可能な限り、5%の伝票を先に入力・訂正・更には請求書の発行も終わらせた方が楽です。

当日の伝票発行や、伝票を先付で発行するお客様は、改定日・又は、改定日以前に、下記T4の作業を行う必要があります。また

改訂前の修正をする場合は、下記T4の作業で、5/105 5/100に戻す必要があります。その後、直接伝票入力で直します。

(納品書発行をしない場合や、納品書に消費税がつかないタイプのみ、ご利用の場合等は、入力後 まとめて、T5金額消費税再計算機能を使う事が可能です。

その際は、切替作業はゆっくりでいいです。)

L A Nのお客様は特に、注意が必要です。5%の作業時間と8%の入力作業時間帯を分ける等、打合せをお願い致します。

請求書発行プログラムに消費税再計算機能が組込A Bタイプの場合は、請求書発行の前に、下記T4作業で5/105 5/100に戻す必要があります。

このプログラムの場合、伝票入力時の消費税額(率)がどうなっていくと、関係なくなります。とにかく現在の設定で請求書の消費税を再計算します。

従って、例えば20日締などで、5%と8%を混在させるような事は出来ません。 混在しない場合や、未締め等は、特に問題ありません。

T4: 商品の消費税率を一括変更します。 全お客様

商品データ一括変換

商品 00000001 ~ 99999999

変換項目	変換区分	変換内容
最新単価	0 無変	0 記録なし
原価更新	0 無変	0 固定
分類1	0 無変	
分類2	0 無変	
分類3	0 無変	
単価ランク率1	0 無変	%を %へ
単価ランク率2	0 無変	%を %へ
単価ランク率3	0 無変	%を %へ
単価ランク率4	0 無変	%を %へ
単価ランク率5	0 無変	%を %へ
消費税率	1 マスター	内税 8/108 外税 8/100 外税 [1] (1:非課税品除外)

確認

変換を開始してもよろしいですか?

中止 (F8) メニュー (F12)

はい いいえ

商品データ一括変更画面では、商品範囲が自動表示されませんので、商品範囲は手動で入力して下さい。

数字8桁タイプの場合は、
1 ~ 99999999 又は - ~ 99999999
9S と 9TAX をご利用の場合は、
商品マスタで個別に修正して下さい。 T 1 参照

文字タイプの場合は、
F 6 商品マスタ登録の F 7 台帳で、
商品の初期値 ~ 最後が表示されます。
その値を入力して下さい。

メインメニュー メンテナンス 【 商品データ一括変換 】

消費税率を [1] マスターに変更 8 / 108 8 / 100 に変更 [1] 非課税除外を対象外にして、 [エンター]

注意 非課税の判断は全て 0 / 0 0 / 0 の物が非課税扱いです。 0 / 105 0 / 100 のものは非課税にならず、変換されてしまいます。

注意 - 6 - の その他の対応方法 で、5%や8%の商品を作る場合は、一括変更した後に、商品マスタで 再度設定し直して下さい。 T 1 参照

T 5 : 一括伝票消費税修正 必要に応じて利用 (請求書発行プログラムで、消費税計算が含まれている A B タイプの場合は、利用出来ません。)

メインメニュー メンテナンス 【 金額消費税再計算 】

金額消費税再計算は、現時点の消費税設定を見て再計算するため、入力した時の、税率は無視されます。

もし 2 0 締などで税率を混在させる場合は、日付を分けて再計算をかけます。

また、得意先によって、対応方法が異なる事もあると思いますので、得意先コードをわかる等、工夫します。

5 % で再計算や、新税率での再計算の切り替えは、上記作業 T 4 を繰り返し行う必要があります。

T 4 の切替作業が困難な場合は、一次対応用の、消費税 率 変更 対応 金額消費税再計算をご検討下さい。(A B タイプの場合はこのプログラムは無意味です。)

消費税区分は、どの場合でも、**9** 全てにして下さい。

締日はどの場合でも、**0 0** 全てにして下さい。

【 参考 】

その他の対応方法 1 伝票に明細が多い場合は対応不可だと思います。 その際は、その他の対応方法 でお願ひします。

頁-0-の間 がSの場合のみ、対応が可能です。

1 個又は何個か、5 %の商品を作っておきます。(又は8 %の商品を先に作っておきます。)

5 %の伝票修正の際は、常に、その商品コードを利用し、商品名は手入力します。

この作業が可能な場合は、5 %と8 %の入力が同時に可能という事になります。

但し、請求外税がある場合は、目に見えないため、**切替が困難な場合は、一次対応用の消費税率 変更対応 金額消費税再計算をご検討下さい。**

その他の対応方法 S T (お客様によって、この機能が使えない場合もございますので、ご了承下さい。)

請求外税の得意先がある場合、この方法は不可です。

どうしても消費税の切替が困難な場合は、一度摘要欄にカーソルを持っていき、

T A B キーを押すと、消費税を手入力する事が出来ます。 自動計算ではありません。

この作業が可能な場合は、5 %と8 %の入力が同時に可能という事になります。

但し、請求外税の場合は、この運用は不可のため、後で、再計算の必要がありますので、T 4 ・ T 5 の作業が必要になります。

切替が困難な場合は、一次対応用の消費税率 変更対応 金額消費税再計算をご検討下さい。

その他の対応方法

納品書を発行しているとしても、全ての得意先が、伝票に消費税を表示しないタイプをご利用(請求外税)の場合、T 5 の利用が有効です。

3月末締の請求書・入力・訂正が終わった後、T 2 ・ T 4 ・ T 5 を行います。 この場合は、T 5 で日付を4 / 1 ~ 最後迄にします。

その他 備考 お客様別コメント